



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月14日

会 社 名 株式会社キタムラ

（JASDAQ・コード番号：2719）

（URL <http://www.kitamura.co.jp>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
氏 名 武川 泉

問 い 合 わ せ 先 責 任 者 役 職 名 取締役管理部長
氏 名 甲藤 隆造

TEL (045) 476-0777

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（詳細は別紙添付）

最近の連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

（注）当第3四半期より「財務・業績の概況」の開示を行うため、新たに四半期連結決算を開始したため、前年同四半期における数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期（当期） 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第3四半期	91,457 (110.1)	3,220 (—)	3,522 (—)	2,117 (—)
16年3月期第3四半期	83,054 (—)	— (—)	— (—)	— (—)
(参考)16年3月期	108,720	1,904	2,305	793

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	121 80	— —
16年3月期第3四半期	— —	— —
(参考)16年3月期	44 72	— —

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期のわが国経済は、輸出と設備投資に支えられ景気回復基調を維持してきましたがやや減速感が見られ、景気に足踏み感が出て来ているかと思われます。流通業界におきましては、度重なる台風の襲来や新潟中越地震の発生等、災害の影響もあり景気回復の動きも弱さが見られます。

このような事業環境のもとで、当第3四半期における事業部門別販売実績は、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	事業部門	売 上 高
		百万円 %
映像・情報関連	映像機器部門	45,284 (119.2)
	情報機器部門	3,142 (122.7)
	フィルム部門	6,509 (87.0)
	プリント部門	27,665 (106.2)
	その他部門	2,474 (94.1)
その他	—	6,381 (101.1)
合計		91,457 (110.1)

（注）1.記載金額は表示単位未満を切捨てて表示しております。

2.本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3.パーセント表示は、対前年同四半期増減率を記載しております。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	53,343	15,740	29.5	905 40
16年3月期第3四半期	—	—	—	— —
(参考)16年3月期	46,464	13,916	29.9	799 48

〔財政状態の変動状況に関する定性的情報等〕

特に記載すべき事項はありません。

- 添付資料
（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書

[参 考]

平成 1 7 年 3 月期の連結業績予想（平成 1 6 年 4 月 1 日～平成 1 7 年 3 月 3 1 日）

当第 3 四半期は順調に推移いたしましたが、今後の当社グループを巡る経営環境には一層厳しいものが予想されますが、当中間期及び通期の業績予想は平成 1 6 年 5 月 2 7 日発表の当初予想より変更ない見通しであります。

以上、

〔添付資料〕

１．(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年３月期 第３四半期末)	前四半期 (平成16年３月期 第３四半期末)	(参考) 平成16年３月期
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	7,215	—	2,619
受取手形及び売掛金	5,222	—	3,517
たな卸資産	12,838	—	13,311
その他	3,285	—	2,789
貸倒引当金	60	—	10
流動資産合計	28,501	—	22,227
固定資産			
有形固定資産	12,169	—	11,774
無形固定資産	416	—	450
投資その他の資産	12,255	—	12,012
固定資産合計	24,841	—	24,236
資産合計	53,343	—	46,464
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	21,338	—	14,601
短期借入金	742	—	3,082
１年以内返済予定長期借入金	3,513	—	3,176
未払法人税等	1,113	—	428
賞与引当金	366	—	723
景品費等引当金	681	—	654
その他	3,340	—	3,721
流動負債合計	31,094	—	26,389
固定負債			
長期借入金	4,259	—	3,965
退職給付引当金	2,083	—	2,032
その他	123	—	121
固定負債合計	6,466	—	6,119
負債合計	37,560	—	32,508
(少数株主持分)			
少数株主持分	41	—	38
(資本金)			
資本金	2,654	—	2,654
資本剰余金	2,222	—	2,222
利益剰余金	10,834	—	8,992
その他有価証券評価差額金	58	—	73
自己株式	28	—	26
資本合計	15,740	—	13,916
負債、少数株主持分及び資本合計	53,343	—	46,464

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額
売上高	91,457	—	108,720
売上原価	61,128	—	71,300
売上総利益	30,328	—	37,419
販売費及び一般管理	27,107	—	35,514
営業利益	3,220	—	1,904
営業外収益	439	—	611
営業外費用	137	—	211
経常利益	3,522	—	2,305
特別損失	114	—	569
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,408	—	1,736
法人税、住民税及び事業税	1,295	—	1,095
法人税等調整額	—	—	131
少数株主利益又は少数株主損失()	5	—	20
四半期(当期)純利益	2,117	—	793

3. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

[簡便な手続の内容]

1. たな卸資産は、継続記録に基づく帳簿たな卸によって算定しております。
2. 景品費等引当金は、中間連結会計期間の実績率によって算定しております。
3. 税金費用は、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じた額を基礎として算定しております。



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）

平成17年2月14日

（JASDAQ・コード番号：2719）

会 社 名 株式会社キタムラ

（URL <http://www.kitamura.co.jp>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
氏 名 武川 泉

問 い 合 わ せ 先 責 任 者 役 職 名 取締役管理部長
氏 名 甲藤 隆造

TEL（045）476-0777

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（詳細は別紙添付）

最近の事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

（注）当第3四半期より「財務・業績の概況」の開示を行うため、新たに四半期決算を開始したため、前年同四半期における数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

（1）経営成績の進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	76,287	(112.4)	2,864	(—)	3,171	(—)	1,708	(—)
16年3月期第3四半期	67,853	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)16年3月期	88,736		1,831		2,175		854	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	98	25	—	—
16年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年3月期	48	41	—	—

（2）財政状態の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株 主 資 本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年3月期第3四半期	48,335	15,296	31.6	879	82
16年3月期第3四半期	—	—	—	—	—
(参考)16年3月期	39,979	13,878	34.7	797	47

○ 添付資料

（要約）四半期貸借対照表、（要約）四半期損益計算書

[参 考]

平成17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

当第3四半期は順調に推移いたしました。今後デジタルカメラ・デジタルプリントの販売は、引き続き拡大するものと見込まれますが、価格競争の激化等により引き続き厳しい状況で推移するものと予想されますが、通期の業績予想は平成16年5月27日発表の当初予想より変更ない見通しであります。

以上、

〔添付資料〕

１．(要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年３月期 第３四半期末)	前四半期 (平成16年３月期 第３四半期末)	(参考) 平成16年３月期
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	6,381	—	2,128
受取手形及び売掛金	3,747	—	2,654
たな卸資産	11,142	—	11,530
その他	5,043	—	2,657
流動資産合計	26,314	—	18,970
固定資産			
有形固定資産	9,368	—	9,111
無形固定資産	302	—	387
投資その他の資産	12,349	—	11,510
固定資産合計	22,020	—	21,008
資産合計	48,335	—	39,979
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	18,504	—	12,201
短期借入金	600	—	1,850
１年以内返済予定長期借入金	3,513	—	2,537
未払法人税等	976	—	341
賞与引当金	307	—	606
景品費等引当金	632	—	602
その他	2,353	—	2,733
流動負債合計	26,888	—	20,871
固定負債			
長期借入金	4,259	—	3,383
退職給付引当金	1,769	—	1,726
その他	121	—	119
固定負債合計	6,150	—	5,229
負債合計	33,039	—	26,100
(資本金)			
資本金	2,654	—	2,654
資本剰余金	2,222	—	2,222
利益剰余金	10,389	—	8,954
その他有価証券評価差額金	58	—	73
自己株式	28	—	26
資本合計	15,296	—	13,878
負債・資本合計	48,335	—	39,979

2. (要約)四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額
売上高	76,287	—	88,736
売上原価	50,974	—	57,588
売上総利益	25,313	—	31,147
販売費及び一般管理	22,448	—	29,316
営業利益	2,864	—	1,831
営業外収益	412	—	494
営業外費用	105	—	149
経常利益	3,171	—	2,175
特別損失	83	—	358
税引前四半期(当期)純利益	3,087	—	1,816
法人税、住民税及び事業税	1,379	—	994
法人税等調整額	—	—	32
四半期(当期)純利益	1,708	—	854

3. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

[簡便な手続の内容]

1. たな卸資産は、継続記録に基づく帳簿たな卸によって算定しております。
2. 景品費等引当金は、中間会計期間の実績率によって算定しております。
3. 税金費用は、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じた額を基礎として算定しております。